

広島労働局長が「ベストプラクティス企業」 広島ロータリー輸送(株)、荷主企業マツダ (株)、マツダロジスティクス(株)と懇談を行いました。

広島労働局長 釜石英雄 は、11月15日(水)、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、地域の中で長時間労働の削減に向けて積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」及びそれを支援する荷主企業への訪問を実施し、当該企業の取組内容について、代表者と意見交換しました。

広島ロータリー輸送(株)のプロフィール

広島ロータリー輸送株式会社

所在地 広島県安芸郡坂町
従業員数 72名(自動車運転者61名)
車両 57台他
事業概要 道路貨物運送業



<取組の目的>

- ① 2024年4月からの時間外労働の上限規制の適用に向けて余裕をもって対応する。
- ② 職場環境を整備し、労働力不足に対応する。

代表者との懇談の様子

懇談では広島ロータリー輸送(株)の代表取締役社長から、

☆GPSを使用したクラウド型位置管理システムを導入し正確な着時間を予測し、不要な待機時間を削減しています。

☆自動車運転者に特化した労働時間の管理システムを導入し、運転者の出退勤やデジタルタコグラフのデータを取り込み、時間外労働が特定の運転者に偏らないように管理しています。

☆発注者(マツダ(株))や元請(マツダロジスティクス(株))の協力により、荷役作業を合理化し、自動車運転者の荷積み、荷下ろしについて、マツダ(株)やマツダロジスティクス(株)の構内においては自動車運転者の荷役作業が減少し、負担が減少しています。

といった説明がありました。

荷主であるマツダ(株)の支援について

マツダ(株)の支援について

☆ホワイト物流の推進宣言により取組方針の明確化

自動車運転者の不足による物流の停滞を防止するため、効率化を推進

☆燃料サーチャージ制により燃料費高騰による減収の防止

☆トラックへの積載率の向上

部品形状や荷姿の改善により積載率の向上を図る。

☆トラックの回転率の向上

トラックヤードへの滞留時間を減少させることにより総合的な回転率の向上を図る。

トラックヤード内の滞留時間を減少させるため、自動車運転者が従来行っていた荷役業務の分離を進めており、自動車運転者の運転業務以外の業務の軽減を段階的に図っている。

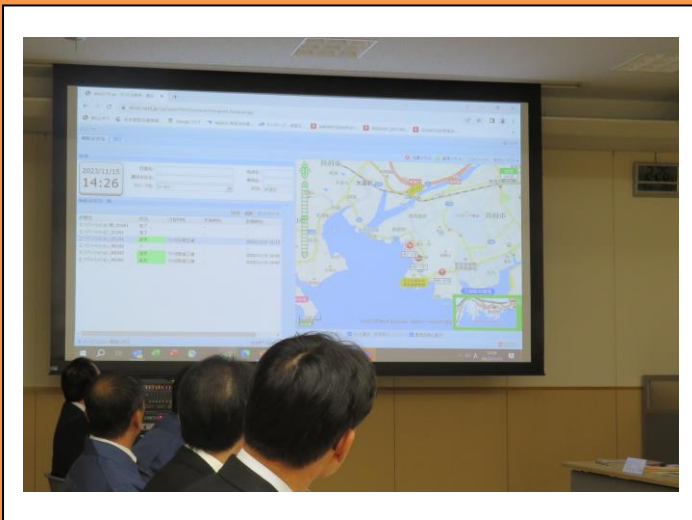


マツダ(株)の2024年
問題への取組と対応につ
いて説明を受ける広島労
働局長と広島運輸支局長

元請であるマツダロジスティクス(株)の支援について

マツダロジスティクス(株)の支援について

- ☆マツダ(株)によるホワイト物流宣言を受け、取組方針を明確化
- ☆荷主各社での手待時間の削減のため、GPSを利用したクラウド型運行管理システムを広島ロータリー輸送(株)だけでなく関係各社に展開
- ☆マツダ(株)関連の輸送ルート見直しにより自動車運転者の拘束時間の短縮
- ☆荷役作業の見直し、改善により荷役時間の短縮
- ☆安全で確実な作業ができるようフォークリフト運転技術の向上のための講習実施
- ☆関係各社との定期的な意見交換により、問題点の早期把握



マツダロジスティクス(株)の展開するGPSを利用したクラウド型運行管理システムの説明の画面

運行中の各車の位置が地図上に表示され、運行計画からの逸脱がないか画面左に表示される。

<広島ロータリー輸送(株)の成果>

☆自動車運転者の年間残業時間(2022年)

平均 422 時間 (2019 年 529 時間)

☆年次有給休暇の平均日数(2022年)

平均取得日数 11.8 日 (2021 年 8.2 日)

懇談後のマスコミ取材の状況



懇談終了後、マスコミ各社から取材が行われ、2024年問題、特に自動車運転者の時間外労働の規制に対応するための方策についての関心の高さが分かりました。



質問内容は雇用情勢から、広島ロータリー輸送(株)の働き方改革の進め方、それに対するマツダ(株)、マツダロジスティクス(株)の支援の詳細まで、多岐にわたりました。